

日本デザイン学会2020年度第4回理事会議事録

日時■2020年10月24日(土曜日) 11:00~12:00

場所■Web会議

出席者■小林、佐藤(弘)、赤井、池田、井関、井上、大島、柿山、上綱、工藤、國本、境野、佐々木、杉下、滝本、田村、永盛、生田目、ハイメ、橋田、平松、伏見、益岡、松岡、村上、柳澤、山内、山中、柚木、蘆澤、小野、加藤(健)、佐藤(浩)

欠席者■岡本、國澤、久保、小山、曾我部、寺内、蓮見、山本、横溝

1. 会長挨拶

小林会長より挨拶がなされた。

2. 理事会選出副会長の選出について(永盛選挙管理委員長)

永盛選挙管理委員長より、理事会選出副会長の選挙結果、生田目理事が選出され承認された。

3. 2020年度第2回運営委員会議事録の承認

2020年度第2回運営委員会議事録案が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

4. 2020年度秋季企画大会について(杉下担当理事)

杉下担当理事より、準備状況の説明がなされ、滞りなく会が開催されているとの報告がなされた。

5. 2020年度学会各賞選考結果について(山中担当理事)

山中担当理事より、2020年度学会各賞選考結果について説明がなされた。本年度は、功労賞4件、年間論文賞1件、年間作品賞1件となり、承認された。

6. 2021年度春季研究発表大会について(境野実行委員)

境野実行委員より、遠隔による開催への対応に関する課題(著作権等)の説明がなされ、引き続き、検討を進めていくことになった。また、概要集編集委員会と連携しながら講演概要集の運用方法等についても議論を進めていくことになった。

7. 会員の移動について(佐藤本部副事務局長)

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、
入会：正会員6名(内外国人1名)

学生会員1名(内外国人1名)

退会：正会員2名

が承認された。

【報告事項】

8. デザイン学研究と英文ジャーナルの進捗状況について

(久保論審委員長(代)佐藤委員、村上論審委員長)

佐藤委員と村上委員長より、『デザイン学研究』『Journal of the Science of Design』の進捗状況について報告がなされた。

9. 作品集の進捗状況について(杉下作品審査委員長)

杉下作品審査委員長より、本年度の審査件数は締切時から1件追加となり計38件になったとの説明がなされた。現在、1次審査が完了した状態であり、来年3月の発行に向けて審査を進めていくとの説明がなされた。

10. ホームページ更新状況について(大島広報委員長)

大島委員長より、更新用マニュアルを現在作成中との説明がなされた。

11. デザイン学会支部企画「教育成果集2019」報告(平松第2支部長)

平松第2支部長から、「教育成果集2019」報告と配布状況について説明がなされた。

12. 協賛依頼について(佐藤本部事務局長)

佐藤本部事務局長より、2件の協賛依頼について説明がなされた。

記録：佐藤(浩)

日本デザイン学会2020年度第5回理事会議事録

日時■2020年12月12日（土曜日）15：00～17：00

場所■Web会議

出席者■小林、佐藤（弘）、赤井、池田（岳）、井関、井上、大島、岡本、柿山、上綱、工藤、國本、久保、境野、滝本、田村、橋田、蓮見、伏見、松岡、村上、山内、山中、柚木、横溝、小野、蘆澤、加藤（健）、佐藤（浩）

欠席者■生田目、國澤、小山、佐々木、杉下、曾我部、寺内、永盛、アルバレス、平松、益岡、柳澤、山本

1. 会長挨拶

小林会長より挨拶がなされた。

2. 2020年度第4回理事会議事録の承認（佐藤本部副事務局長）

2020年度第4回理事会の議事録が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 「アジアデザイン・アート研究部会」の新設について（小野研究推進委員長）

小野研究推進委員長より、「アジアデザイン・アート研究部会」の新設について提案がなされた。藤澤忠盛発起人から設立趣旨や活動方針について説明がなされ、審議の結果、部会名を再度検討いただくこととなった。

4. 2021年度春季研究発表大会について（境野実行委員）

境野実行委員より、使用予定教室の状況、会場のネットワーク環境、および準備期間における資金について報告がなされた。使用予定教室では、定員制限があるため、学外施設の使用も検討しているとの説明がなされた。引き続き、対面、オンライン、およびハイブリッドのそれぞれを検討しながら、準備を進めていくこととなった。

5. 2021年度春季研究発表大会概要集について（柿山概要集編集委員）

柿山概要集編集委員より、2021年度春季研究発表大会概要集の準備に向けた提案がなされた。審議の結果、2021年度はUSBによる配布を廃止し、大会前と当日は概要集専用サーバーから配信することが承認された。また、大会後は発表確定済み論文をJ-STAGEへアップすることとなった。なお、参加者の

住所変更はお済みですか？

住所不明で戻ってくる郵便物が
増えております。

住所変更は確実にお願いします。

届出は文書にてお願いします。

転居される方は、FAXまたは

綴じ込みの「入会届け」に

朱書きで「変更届け」と書き添えて、

事務局までご連絡ください。

ホームページ

http://jssd.jp/files/change_regular.pdfにも

様式が掲載されておりますので

ご利用ください。

退会等の届出も必ず文書にて

お願いします。

本部事務局

ネットワーク・デバイス環境を鑑みて、会場でハードコピーができるブースを設置することとなった。

6. 2021年度春季研究発表大会テーマセッション&キーノートスピーチについて（小野研究推進委員長）

小野研究推進委員長より、2021年度春季研究発表大会テーマセッション&キーノートスピーチ募集について例年通りの手順で募集するとの説明がなされ、承認された。

7. 2021年度春季研究発表大会OSについて（生田目総合企画委員長（代）工藤企画委員）

工藤企画委員より、2021年度春季研究発表大会OS募集について説明がなされた。例年通り、4件のOSのうち、2件を理事会提案（うち1件を開催校提案）、2件を公募とすることとなった。また、オンライン開催時の注意点についても合わせて通知することとなった。

8. 会員の移動について（佐藤本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員11名

退会：正会員1名、学生会員6名（内外国人2名）

が承認された。

【報告事項】

9. デザイン学研究の進捗状況について（久保論審委員長）

久保論審委員長より、『デザイン学研究』における審査状況の報告がなされた。また、1月発行予定の67巻3号について出版社へ入稿済みとの報告がなされた。

10. 英文ジャーナルの進捗状況について（村上論審副委員長）

村上論審副委員長より、『Journal of the Science of Design』における審査状況の報告がなされた。また、11月末発行予定であったVol.4, No.2が近日中に公開されるとの報告がなされた。

11. 作品集の進捗状況について（杉下作品審査委員長（代）永盛委員）

永盛委員より、作品集の進捗状況について報告がなされた。現在2次審査中であり、予定通り年度内に発行するとの説明がなされた。

12. ホームページ更新状況について（大島広報委員長）

大島広報委員長より、年末にHPをメンテナンスするとの報告がなされた。

記録：佐藤（浩）

第68回 JSSD 日本デザイン学会
春季研究発表大会について

実行委員長 境野広志

2021年度の春季研究発表大会が6月25日～27日に長岡造形大学で開催されます。今回はすべて遠隔（リモート）での開催となります。大会概要、参加・発表の申し込みは開催校ホームページ（<https://www.nagaoka-id.ac.jp/jssd68th/>）をご覧ください。なお状況により情報内容の追加や変更も予想されますので、学会ホームページと併せて、こまめに確認するようお願いいたします。

2020年度第1支部活動報告

支部長 横溝賢

日本デザイン学会第1支部は、デザイン学を地域に還元することを目的に東北・北海道地区のデザイン系大学が集まって組織された支部会である。本支部では、これまで地域に開かれた学会活動をコンセプトに、仙台、札幌、函館、秋田、山形、八戸に向き、地元市民や学生、社会人、教員らがフラットにデザイン学の知見を交流する場を作ってきた。現場を大切にしてきた第1支部大会であるが、2020年度はCOVID-19感染拡大防止に配慮し、2020年10月4日（日）10:00～18:00にオンライン（Zoom）で開催した。開催テーマはコロナ禍のリモート化により社会活動の効率化が加速する中、日常における無駄な行為や時間が失われていくことを鑑み、【「むだ」のデザイン】とした。本年度の支部会では、この「むだ」をテーマに「一見すると失敗が見えている挑戦」や「終わりの見えない研究」、「他愛のない小さな創作活動」など、「なんてむだなことをしているんだ！」という〈デザインむだ話〉を支部会WEB（<https://jssd-branch1-2020.studio.site>）とSNSを使って公募した。その結果、口頭発表9件、ライトニングトーク20件、計29件の研究発表が集まり、参加者は65名の参加登録があった。発表者には、デザイン学生やデザイン研究者だけでなく社会人





デザイナーや、図書館ディレクター、林業家なども参加し多様な現場における実践的な研究発表が集まった。また、今回は学会のオンライン化に伴い、2つの工夫を試みた。1つ目は、ただ聞いているだけでは思考が鈍ると考え、胃袋を使って考える場として、食べながら発表の振り返り議論をする時間、もぐもぐデザイン交流タイムをランチ（12：00）とおやつ（17：00）の時間に設けた。2つ目の工夫は、プログラム進行に関係なくいつでもコメントでき、さらに発表者へのコメントだけでなく他者のコメントに対して意見を述べ議論をその場で深められるコミュニケーションツールを用意した。

このツールは、コメントに対して「いいね」や「もっと聞きたい」など絵文字スタンプを押すことができる。それにより、参加者が議論を深めたい関心の矛先を視覚的にわかるようにした。これらの工夫により、発表者とコメント者、そして参加者らがフラットに議論を深めていく環境が生まれ、学会全体の対話が豊かに形作られた。1日をフルに使ったオンライン議論の場であったが、途中食べながらの歓談も挟んだことで参加者同士緩やかに、しかしじっくりと話を聞き、自らの経験を重ねながら議論する関係が生まれ、リアルに劣らない学会活動を形づくることのできた。コロナ禍の収束はいまだ不透明であるが、2021年度は2020年度開催予定であった岩手大学を拠点にして対面またはリモートのどちらかで参加できるハイブリッド形式での第1支部大会開催を模索したい。

大会実行委員長：横溝賢（第1支部長、札幌市立大学）
 副委員長：柚木泰彦（同副支部長、東北芸術工科大学）
 運営委員：福田大年（札幌市立大学）、安井重哉（公立はこだて未来大学）、堀江政広（東北工業大学）、酒井聡（東北芸術工科大学）、石井宏一（秋田大学）、菅原香織（秋田公立美術大学）、田中隆充（岩手大学）、中島郁子（wirefactory）、両角清隆（東北工業大

学）、岡本誠（公立はこだて未来大学）、原田泰（公立はこだて未来大学）、三河侑矢（札幌市立大学）（順不同）

令和2年度日本デザイン学会第3支部活動報告

第3支部では今年度も会員交流と研究活動・デザイン活動の活性化を目的として、下記の事業を実施した。

1. 第3支部研究発表会

目的：研究発表を通し会員と学生の交流を深める。

発表内容：デザインに関係したあらゆるテーマを発表対象とした。発表者自身が行ってきたデザイン学研究、今後のデザイン学研究の方向性・発展性などについて、自由な発想で発表していただいた。

開催日時：令和3年2月27日（土）9時30分～16時30分

内容：口頭発表、ポスター発表、表彰

会場：リモート開催/Zoom

参加者：47名（会員18名、学生：33名）

発表：29件（口頭17件、ポスター12件）

概要：16回目となる本研究発表会は、リモート開催の関係で口頭発表とポスター発表は学生発表のみで行った。発表に先立ち2月20日（土）にリハーサルを行い、発表者全員の参加を義務付けた。発表当日は、Zoom内のブレイクアウトルームをメイン会場とし、口頭発表は2会場で行い、ポスター発表は4ルームを3回転して発表を行った。研究発表会の各概要は、ISSNを取得した第3支部研究発表会概要集に収録され（ISSN2188-479X）、国立国会図書館に収録する。平成25年度より「優秀発表賞」を設け、今年度は以下の4名を表彰した（敬称略）。

■八木貴生（名古屋市立大学）

UXデザイン手法を用いた「ウェアラブルデバイス」がもたらす体験価値の分析及び研究 ウェアラブル保湿機の研究開発

■高橋晶太郎（名古屋市立大学）

プロダクトを介した特定の行為が目的タスク以外に人の内面に与える影響についての調査分析 心も綺麗にする掃除道具の提案

■門松沙姫（東海大学）

すごろくを用いたリフレクションゲームの制作

■境田絵美（名古屋市立大学）

タイム軸デザインを踏まえた次世代キッチンのデザイン

2. 第3支部報告集

支部会員の日頃の研究活動・デザイン活動の発表の場として、平成30年度より「第3支部報告集」を出版している。今年度はテーマ付き報告集として「遠隔授業における特色あるデザイン教育」を付け加えた。投稿者は目白大学の竹山賢氏、名古屋学芸大学の中西正明氏、金城学院大学の弓立順子氏の3名であった。報告集は第3支部研究発表会概要集と合本で出版した。

3. 日本デザイン学会奨励賞第3支部

学生表彰制度について、平成25年度より「奨励賞」を設け、各所属機関（大学、大学院、短期大学）において優秀な研究・制作活動を行った学生・大学院生を対象に表彰を行う。

目的：表彰制度による学生の研究・制作活動に対する評価

対象：日本デザイン学会第3支部会員（教員）在籍の大学院・大学・短期大学において、特に優秀な研究・制作を行った学生と大学院生を対象とする。

人数：各所属機関の学部卒：2名、大学院前期課程（修士）卒：2名、後期課程（博士）卒：2名、（プロジェクトの申請は1件とした）

選考方法：各所属機関に所属するデザイン学会会員による選考

表彰：第3支部から賞状データをメールで送付し、各機関にて印刷し卒業式で表彰する。

表彰学生：名古屋工業大学の小篠佑佳・村上香彩、名古屋市立大学の高橋快勢・田中一鉄、長岡造形大学大学院の軍司円、北陸先端科学技術大学院大学の西野涼子・Zhao Jing・LIN Yung Yu・Kieu Que Anh、愛知産業大学の岡安諒也、愛知淑徳大学の鈴木絵美里他13名、金城学院大学の加藤友梨・西森碧泉、椙山女学園大学の小林千華他2名、名古屋学芸大学の舟橋菜生・田中健太郎、福井工業大学の元田咲帆・中田優里菜、福井工業大学大学院のOng-on Witthayathada・山本康介、（敬称略）

2021.03.13 第3支部支部長 滝本成人（椙山女学園大学）

2020年度情報デザイン研究部会活動報告

主査 横溝賢

情報デザイン研究部会では2020年度第67回日本デザイン学会春季研究発表大会（以下、春季大会）において、「実践者たちのデザインの知のはたらき」というセッションテーマを掲げ、発表者を公募した。このテーマでは、多様な現場における

デザイン実践の生々しい語りを集めて議論することから、実践を論述するための理論的枠組みを見出すことを目標としていた。春季大会ではこのテーマに16件の投稿があった。しかし大会がCOVID-19感染拡大防止のため中止になったことを受け、投稿者に発表の場を設ける必要があると考え、部会独自にオンライン研究発表会「オルタナティブデザイン」を2020年9月19日（土）に開催した。このテーマは、「人ともとの社会の関わり合いかたの〈もう一つの可能性〉を常に見ようとする情報デザインの特徴を〈もう一つのデザイン=オルタナティブ・デザイン〉とし、情報デザイン学の社会的な役割をメッセージとして伝えることを目的に設定した。発表申し込みは、デザイン学会ウェブサイトから公募し、春季大会におけるテーマセッションへの投稿者／情報デザイン分野への投稿者／本部会関係者のいずれかを満たしていることを申込条件とした。その結果、12件の発表申し込みがあった。発表者リストは次の通りである。小早川真衣子（千葉工業大学）、三河侑矢（札幌市立大学）、岡村綾華（東京藝術大学）、日下真緒（慶應義塾大学大学院）、酒井章（武蔵野美術大学大学院）、両角清隆（東北工業大学）、中島郁子（wirefactory）、三野宮定里（公立はこだて未来大学大学院）、廣瀬花衣（慶應義塾大学大学院）、草苺和士（東北工業大学大学デザイン工学専攻）、木村篤信（NTTサービスエボリューション研究所）、原田泰（公立はこだて未来大学）、元木環（京都大学）

聴講者募集はPeatixからおこない64名の申し込みがあった。また口頭発表後に本部会幹事メンバー8名によるオーガナイズドセッション「実践者の見えを交差させることから顕れるデザインの知」を開催し、各々の実践の中にあるデザイン知を探る学会議論のありかたを模索した。この一連のセッションプログラムを1日という限られた時間の中で濃縮して議論するために、本セッション専用サイトを準備した。

発表者は発表概要とYouTube動画を事前に専用サイトにアップロードし、聴講者と発表概要・動画を事前共有できるようにした。セッション当日は、発表者による5分のライトニン





オルタナティブデザインWEB: <https://sites.google.com/view/info-d-festival2020/>

トーク（以下、LT）を聞いた上で質疑応答の議論ができるようにした。動画公開とLTを組み合わせた結果、各発表に対しリアルとチャットの意見がテンポよく複合的に飛び交い、濃縮した発表・議論の場が作られた。コロナ禍だからこそ、生きることとデザインすることをどうやって同一にしていけるのか、その知恵と技について丁寧に議論し合う学術交流がオンライン上に形成できた。

企画・運営・実行委員（情報デザイン研究部会幹事メンバー）：
上平崇仁（専修大学）、小早川真衣子（千葉工業大学）、瀧川恵美（ミミクリデザイン）、中島郁子（wirefactory）、二宮咲子（関東学院大学）、福田大年（札幌市立大学）、元木環（京都大学/副査）、横溝賢（札幌市立大学/主査）（五十音順）

献本御礼

◆献本

「形象の記憶 デザインのいのち」向井周太郎著
「日本地域デザイン史はものづくり「知」の宝庫」澁谷邦男著
「暮らしと器 日々の暮らしに大切なこと」山口泰子著

◆機関誌ほか

「デザイン理論 意匠学会編 77号」発行：意匠学会、2021年1月
「良き師・良き仲間」に恵まれて 山口泰子の記録」発行：山口節子、山口博之、2021年3月
「JAGDA 国際学生ポスターアワード2020」発行：公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA）、2020年11月
「グラフィックデザイナーのための本5 ピクトグラムの創作と保全」発行：公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA）、2021年2月

◆催事情報

「なぜ？を見つける5つのヒント やさしい日本画」2021.2.25-2021.4.4 富山県美術館
「国際工芸アワードとやま2020羽ばたく工芸の未来」2021.2.25-2021.4.4 富山県美術館
「ポーラ美術館コレクション展 印象派からエコール・ド・パリ」2021.4.24-2021.6.27 富山県美術館

◆募集

「2021年度募集 グラフィック文化に関する学術研究助成」

助成金額：1件につき上限50万円

申請期間：2021.4.1-2021.6.18（必着）

選考結果発表：2021.10

お問合せ・申請書送付先：

〒104-0061 東京都中央区銀座7-7-2 DNP銀座ビル
公益財団法人DNP文化振興財団 研究助成係

会員の移動

◆第5回理事会 2020.12.12

新入会

正会員11名

池上 薫	内田広由紀	大島 創	中路 真紀
西川 昌宏	信藤 勇一	早野 慎吾	真島 猛
森 絵美	八木澤優記	安田 公彦	

退会

正会員1名

松山 治彰

学生会員6名（内、海外会員2名）

加藤 健大	櫻井 祐輔	松本 大志	森本 涼子
陳 博聞	陳 證仰		

◆第6回理事会 2021.02.13

新入会

正会員6名（内、海外会員4名）

井登 友一	福原 悠太	郭 雅雯	金 兌昱
Li-Ching Wang	Hui-Li Lin		

学生会員 5名（内、海外会員3名）

杉本 実夏	中山 郁英	葉 宗翰	陳 羿廷
梁 秀芬			

退会

正会員18名

浅野 智	飯田 健夫	石川 寛之	伊藤 克利
加藤 頌健	河瀬 絢子	木下 武志	鈴木 伸英
高梨 武彦	竹末 俊昭	鶴見 慎吾	平瀬亜由美
福井 美佐	堀越 敏晴	山口 隆	近藤 研二
中部 主貴	山崎 仁美		

学生会員 1 名（海外会員）

HARI NUGRAHA

賛助会員 1 件

(株) 日立ドキュメントソリューションズ

訃報

池本 浩幸会員（第2地区）

大坪 牧人会員（第3地区）

ご冥福をお祈り申し上げます。

自動引き落とし手続きのお願い

当学会では、会費の自動引き落としが義務付けられております。すでに、半数以上の会員の方にご利用いただいておりますが、まだ登録がお済でない会員の方は、登録手続きをされますよう、お願い申し上げます。また、口座引き落とし依頼書がお手元にはない方は、本部事務局へご請求ください。

2021年度の年会費引き落としは、2021年5月6日付けにて引落をさせていただきます。

宜しくお手配くださいます様お願い申し上げます。

本部事務局